

利用促進策の実施状況について

熊本市地域公共交通総合連携計画に盛り込んだ利用促進策（25項目）に関して、取り組みが進む6項目について進捗状況をまとめた。

【施策No.2 携帯電話を活用した公共案内システムの整備】

現 在 の 実 施 状 況	「ユビキタス案内パネル」を熊本市内の主要なバス停・観光地・施設等に設置し、携帯電話を「かざす」と、目的地（観光地等）までの公共交通機関の乗換案内（時刻、乗り場）や施設の情報が携帯電話の画面に表示され、GPSや地図を使った目的地までの行き方の案内を行う。本年度は、交通センター、空港前バス停、熊本城など25箇所に設置する。				
今後の取組み	実施時期（年度）				
	H21	H22	H23	H24	H25
（1）新システムの構築	➡				
（2）新システムの公開・本格運用		➡			

【施策No.3 各社共通バス路線・時刻検索HPの作成】

現 在 の 実 施 状 況	九州新幹線鹿児島ルートの中線開業に向け県内の公共交通機関の路線、ダイヤ、運賃等に係る総合的なデータベース及び情報検索機能からなるシステムの構築を行い、県内外の公共交通機関の利用者に対する円滑な情報提供を図ることを目的とした「熊本県公共交通総合案内システム運営協議会（仮称）」が本年度発足する予定。				
今後の取組み	実施時期（年度）				
	H21	H22	H23	H24	H25
（1）将来計画を見据えたシステム構築、実験の準備	➡				
（2）システム構築、実験、効果検証		➡			
（3）システム改良、全体評価			➡		

【施策No.4 各社共通乗車券の導入】

現 在 の 実 施 状 況	小学生を対象にした夏休み限定の乗車券について、昨年度まで九州産交、熊本電鉄が「キッズパス」、交通局が「ひごっこサマーパス」として各々販売し、相互利用できなかったものが、今年度から全事業者共通の「キッズパス」として新たに生まれ変わった。				
今後の取組み	実施時期（年度）				
	H21	H22	H23	H24	H25
（１）導入にあたっての課題整理					
（２）課題整理を踏まえた検討	 (順次実施)				

【施策No.15 深夜バスダイヤの充実】

現 在 の 実 施 状 況	これまで電鉄バス、九州産交バスのみ運行されていた深夜バスが、平成 21 年 2 月 6 日から熊本バスが「交通センター～中の瀬車庫」間の運行を開始。また、九州産交バスでは 9 月 4 日から「交通センター～山鹿バスセンター」「交通センター～松橋産交」の 2 路線において新たに運行を開始する。				
今後の取組み	実施時期（年度）				
	H21	H22	H23	H24	H25
路線の選定、導入時期の検討	 (順次実施)				

【施策No.16 各種割引サービスの強化（商店街等との連携）】

【施策No.21 公共交通利用促進キャンペーンの充実】

現 在 の 実 施 状 況	本年度から、公共交通利用促進キャンペーン期間中（9/20～10/19）、市中心商店街のキャンペーン協賛店で買い物（日祝日のみ）をした方に対して公共交通利用半額券を進呈する新たな制度を導入。この半額券はキャンペーン期間中であればいつでも利用することができる。				
今後の取組み	実施時期（年度）				
	H21	H22	H23	H24	H25
（１）新たなサービスの検討	 (順次実施)				
（２）PR活動の強化					